

Press Clipping

2005/12/07-19:20

クラン港自由貿易区、来年6月オープンへ＝33社と誘致交渉－マレーシア

【プタリンジャヤ（マレーシア）7日時事】マレーシアの主要湾であるスランゴール州クラン西港の隣接地に建設中のクラン港自由貿易区が、来年6月にもオープンする見通しとなった。

同自由貿易区は、アラブ首長国連邦ドバイにあるジェベル・アリ自由貿易区をモデルとして2004年に着工されたもので、クラン港湾局が所有、ドバイをはじめモロッコとジブチでも自由貿易区の運営を手掛けるJAFZAインターナショナルが運営・管理を担当する。

JAFZAの担当者は「工事は予定より早く進んでおり、74%が完了した。これまでに100件以上の問い合わせがあり、33社との誘致交渉が最終段階を迎えている」と言明した。

クラン港自由貿易区には、賃貸用の工場・事務所施設と企業が自前の工場を建設するための用地がそれぞれ設けられている。工場の賃貸料は1平方フィート当たり年間18リンギ。事務所は同22.80リンギ。工場建設用地の借地料は同1.80リンギとなっている。このほか、見本市などが開ける展示施設、税関施設などの付帯施設が建設される。

進出企業には(1)企業の法人税を5年間減免する創始産業資格（パイオニア・ステータス）(2)投資税額控除(3)輸出や研究開発に対する支援策一などの優遇措置が適用される。（了）



クラン港自由貿易区に建設中の賃貸工場スペース（同区運営会社提供）